

## ◆第11回事例研究発表会（一部） 「各事業所からの発表」

【最優秀賞】トレクオーレ横浜若葉台

テーマ：大切なあなたの為に私たちができること

～ケアを受ける人、ケアする人が心地よいと感じる介護～

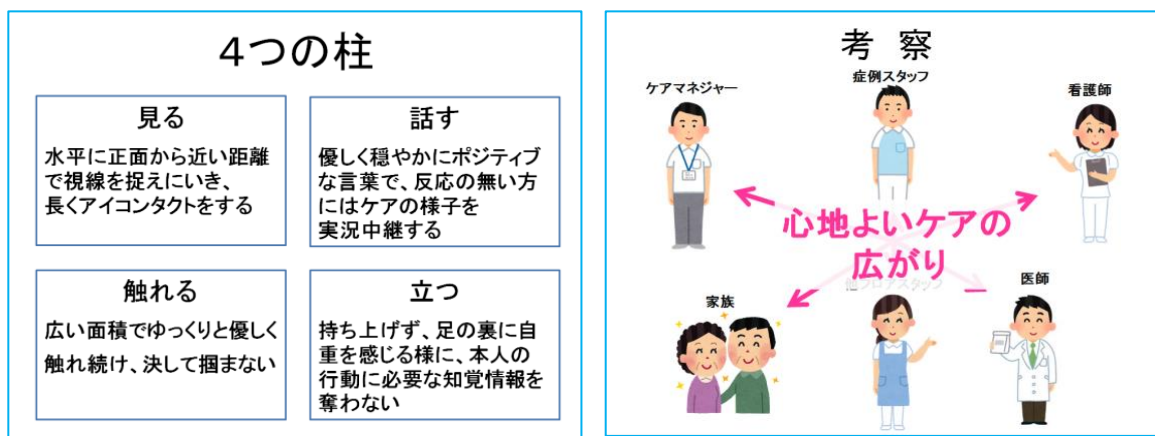
### ●発表内容

『ユマニチュード』とは、「見る」「話す」「触れる」「立つ(歩く)」を4つの柱とした具体的な技術を用いて、認知機能が低下した人に「あなたは大切な人である」というメッセージを発信して関係性を構築するケア技法のこと。ケアを受ける人の能力を奪わず、その人の能力に応じたケアを提供することを重要な要素とし、最期まで人間らしい存在であり続けることを支えるという考えの技法です。

無意識のうちにスタッフがイメージする「その人らしさ」を活用することとし、研修に参加して学び、さらには勉強会を開催。4つの柱を実践し、コミュニケーションが成立するようになるとともに笑顔が増え表情も豊かになったほか、スプーンを自分で口元まで運ぶ動作や歩行距離が伸び、その効果を実感した。

### ●評価のポイント

- ・ユマニチュードを取り入れた勇気を評価。スタッフ側に気づきを得られるチャンスがある技法。
- ・この取り組みで、実際に入居者の持つ力を最大限に発揮させることができている。
- ・ひとりひとりに寄り添ったケアができていることに高い評価。



## 【優秀賞】ヴィンテージ・ヴィラ向ヶ丘遊園

テーマ：笑顔の相乗効果、その先へ ～にやりほっとセカンド～

### ●発表内容

『にやりほっと』とは、スタッフが入居者のプラス面に目を向け、「にやり」としたり「ほっ」としたことを記録すること。

記録をつけるほか、全スタッフが供覧できるように不定期で「にやりほっと通信」を作成。

入居者本人が得意なことを見つけ、褒め、ありがとうと感謝の意を伝えることで本人の安心感や達成感に繋がっていき、ご本人が積極的に行動するようになり、穏やかに過ごされるようになった。笑顔の相乗効果のチカラを感じた。

### ●評価のポイント

- ・積極的に入居者ひとりひとりに寄り添うことが成果に繋がっていることに高い評価。
- ・入居者の人生を構築する一部であり、そのちからになっていく取り組みである。
- ・プラス視点で寄り添うことで部門をまたがって支援していることを評価。



## ◆第11回事例研究発表会（二部）

### 「事業を通じた、取り組みのご報告」

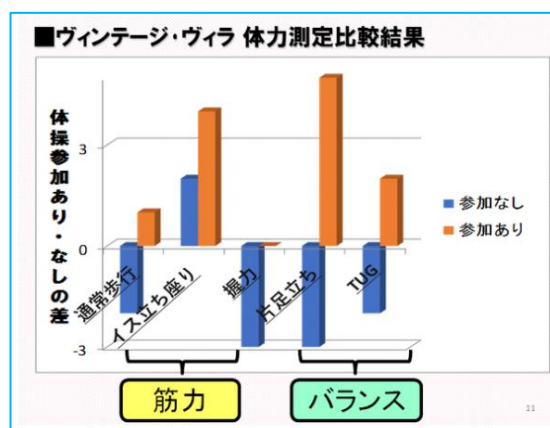
#### ①「ヴィンテージ・ヴィラの体操で得られる効果」と「地域とのつながり」

各ヴィンテージ・ヴィラでは週2回の体操プログラムや体力測定等を開催している。測定直後に個人結果表をお渡ししての面談は大変好評で、当財団直営化前の平成28年度から直営化後には参加者が155%増となった。

運動内容・強度を入居者の身体機能レベルに合わせての見直しや、部署を超えた横のつながりを構築できたこと、各施設スタッフから入居者に体操参加へ積極的にお声掛けの実施などを行なっている。

また、様々な活動へ参加し「やってみたい！」という気持ちを満たすことは健康寿命の延伸にも繋がる大切なことである。

各ヴィンテージ・ヴィラでは地域サークルの紹介をしたり、地域の特性を活かしてノルディックウォーキングをアクティビティで薦めたり、フロントに地域情報誌を置くなど、地域との関わりを密にすることで、さらに充実した「ヴィンテージ・ヴィラ」ライフを過ごすことができるように日々努めている。



## ②住み慣れた地域で暮らし続けよう私たちの「※地域包括ケア事業」を通じて

当財団の在宅介護サービス事業では、地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることが実現出来るよう、地域とのつながりを大切にしています。

人と人は、制度ではなく“人のつながり”でできている。

介護保険サービスで“その人らしさ”を支援することはもちろん、私たちも含め近所や地域の方々（つながり）が重要であり、あいさつのような簡単な声かけからはじまるのが大切と考えます。

これからも「地域」や「その人らしさ」を大切にしたケアサービスの提供を念頭に、平成30年12月には地域の方々と一緒に「介護カフェ」もスタート、人と人をつなげる交流の場として「多世代交流拠点」も来春開設（予定）する。

### ※地域包括ケア事業

在宅介護サービス事業：居宅介護支援事業所・訪問介護事業所「らしくライフシリーズ」

サービス付き高齢者向け住宅事業：「コンチェラート相武台」

**地域包括ケア・地域つながり事業**

**地域包括ケア**

訪問介護事業  
居宅介護支援事業  
サービス付き高齢者向け住宅運営

**地域つながり**

魅力的な地域を創る  
多世代が支える生活  
人と人のつながりを創る

おはようございます！

団地、住宅や地域は単なる住宅が集まっているのではない共同で生活する場。共同は助け合えばさらに協同か共働住宅に発展。それこそが本来のコミュニティーづくりと考えます。

地域の“つながり”は“あいさつ”から  
**向こう三軒両隣**